

令和 5 年度  
(令和 4 年度事業)

教育行政事務の管理及び執行の状況  
に関する点検・評価報告書

赤平市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
<b>教育委員会の活動状況等</b>	1
1 教育委員会の会議開催状況	1
2 教育費の決算状況	5
<b>点検・評価について</b>	6
1 点検・評価の目的	6
2 点検・評価の対象	6
3 点検・評価の視点及び方法	6
◎点検・評価重点施策事業一覧	7
I 学校教育の充実	
① 学力向上対策	8
② 体力向上対策	9
③ フッ化物洗口	10
④ 安全安心な学校給食の提供	11
⑤ いじめ未然防止	12
⑥ 不登校への対応と未然防止	13
⑦ 特別支援教育	14
⑧ 高校通学費等助成	15
⑨ 奨学金返還免除（人材育成・定住促進奨学金）	16
⑩ ICT活用教育	17
⑪ 公設塾の開設	18
II 社会教育の推進	
① 青少年教育	19
② 出前講座	20
③ 社会教育施設等の充実	21
④ 文化財保護	22
⑤ 図書館の運営と読書活動	23
⑥ 体育・スポーツ活動	24
<b>《資料》教育施設利用状況</b>	25

## はじめに

平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## 教育委員会の活動状況等

### 1 教育委員会の会議開催状況

#### 【教育委員会委員】

令和5年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	高 橋 雅 明	令和元年10月1日	令和4年10月1日 ～令和7年9月30日
委員（職務代理者）	高 澤 司	平成28年4月1日	令和4年10月1日 ～令和8年9月30日
委員	坪 谷 嗣 香	平成23年7月1日	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日
委員	山 本 由美子	平成24年2月1日	令和2年2月1日 ～令和6年1月31日
委員	瓜 郁 夫	平成24年10月1日	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日

赤平市教育委員会の会議は、おおむね月に1回開催しています。教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針、規則の制定・改廃などを審議するほか、本市の教育を取り巻く状況等の報告を受け、その問題点と対応などについても協議しています。

開催日	付議案件等
令和4年4月15日	<b>【議案】</b> 議案第1号 令和4年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について
令和4年4月28日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告 <b>【議案】</b> 議案第1号 令和4年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について
令和4年6月3日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告 <b>【議案】</b> 議案第1号 令和4年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 行政手続における押印の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について 議案第3号 赤平市立学校職員服務規程の一部改正について 議案第4号 令和4年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について
令和4年7月1日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告
令和4年7月29日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告
令和4年8月26日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告

開催日	付議案件等
	<p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和4年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>議案第3号 令和5年度に使用する小学校用教科用図書の採択について</p> <p>議案第4号 令和5年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</p>
令和4年9月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>報告第2号 教育長職務代理者の指名について</p>
令和4年10月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について</p>
令和4年11月29日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 令和4年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市教育委員会規則の読点の表記を改める規則の制定について</p> <p>議案第3号 赤平市教育委員会規程の読点の表記を改める訓令の制定について</p> <p>議案第4号 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>

開催日	付議案件等
令和4年12月29日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告
令和5年1月27日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告 <b>【議案】</b> 議案第1号 赤平市教育委員会会議傍聴人規則の一部改正について
令和5年2月27日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告 <b>【議案】</b> 議案第1号 令和4年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について
	議案第2号 令和5年度赤平市一般会計予算に係る意見の申出について
令和5年3月3日	<b>【議案】</b> 議案第1号 市内小・中学校教職員の任免について
令和5年3月29日	<b>【報告】</b> 報告第1号 教育長報告 <b>【議案】</b> 議案第1号 事務局職員の任免について 議案第2号 令和5年度教育施設整備に係る工事計画の策定について

## 2 教育費の決算状況

令和4年度教育費決算総額は4億8,270万80円で前年度比△82.6%となり、一般会計に占める教育費の割合は4.3%で前年度より17.5ポイントの減少となりました。これは、統合小学校建設事業を終え、関連する工事や備品購入に係る支出が少なくなったためです。

なお、各項別の支出額と教育費に占める割合は次のとおりです。

款	項	支出額	割合
教育費		482,700,080 円	100.0%
	1 教育総務費	69,303,469 円	14.36%
	2 幼稚園費	18,260,027 円	3.78%
	3 小学校費	47,356,875 円	9.81%
	4 中学校費	45,245,263 円	9.37%
	5 社会教育費	174,952,177 円	36.25%
	6 保健体育費	50,102,321 円	10.38%
	7 学校給食費	77,479,948 円	16.05%

## 点検・評価について

### 1 点検・評価の目的

教育委員会では法に基づく点検及び評価を行い、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることを目的とします。

### 2 点検・評価の対象

令和5年度の点検・評価対象は、令和4年度教育行政執行方針に掲げている、教育行政が目指す基本的な取組を行うための重点施策事業としました。

◎点検・評価重点施策事業一覧（7ページ）のとおり

### 3 点検・評価の視点及び方法

教育委員会では、各事業を達成度・効果度の観点から4段階（※下記評価基準A）により点検・評価し、課題・改善策など今後の取組も併せて5段階の総合評価（※下記評価基準B）を行い、「教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

#### ※評価基準A

評価記号	評価	評価基準
A	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的で優れた取組を行った。</li> <li>目標の達成に向け大きな成果を挙げた。</li> <li>事務事業として大きな成果を挙げた。</li> <li>問題点や課題がない。</li> </ul>
B	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な取組を行った。</li> <li>目標の達成に向けて一定の成果を挙げた。</li> <li>事務事業として一定の成果を挙げた。</li> <li>大きな問題点や課題がない。</li> </ul>
C	見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組を行った。</li> <li>目標の達成に向けて多少の成果を挙げた。</li> <li>事務事業として多少の成果を挙げた。</li> <li>問題点や課題がある。</li> </ul>
D	休止・廃止の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組を行わなかった。</li> <li>目標の達成に向けて成果が挙げられなかった。</li> <li>事務事業としての成果は挙げられなかった。</li> <li>大きな問題点や課題が残った。</li> </ul>

#### ※評価基準B

評価記号	総合評価
①	拡 充
②	継 続
③	一 部 改 善
④	大 幅 改 善
⑤	休 止 ・ 廃 止

また、教育委員会が行った活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

◎点検・評価重点施策事業一覧

大項目	所管	点検・評価重点施策事業	達成度	効果度	総合評価
学校教育の充実	学校教育課	1 学力向上対策	C	C	①
		2 体力向上対策	A	B	②
		3 フッ化物洗口	D	D	②
		4 安全安心な学校給食の提供	A	A	②
		5 いじめ未然防止	C	B	②
		6 不登校への対応と未然防止	C	B	①
		7 特別支援教育	B	B	①
		8 高校通学費等助成	A	A	①
		9 奨学金返還免除	A	B	②
		10 ICT活用教育	B	B	②
		11 公設塾の開設	B	B	②
社会教育の推進	社会教育課	1 青少年教育	B	B	③
		2 出前講座	B	B	②
		3 社会教育施設等の充実	B	B	②
		4 文化財保護	B	B	②
		5 図書館の運営と読書活動	B	B	②
		6 体育・スポーツ活動	B	B	②

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	学力向上対策			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 「全国学力・学習状況調査」における全国平均正答率		
	目的	知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び主体的に判断し、行動し、より良く問題解決する資質や能力等を身に付ける。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 「全国学力・学習状況調査」において、全国平均正答率を下回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学力向上プランの作成・実施</li> <li>■ 教員加配による少人数指導の実施(道予算、赤平小)</li> <li>■ " " 理科専科指導の実施(道予算、赤平小)</li> <li>■ 標準学力検査・知能検査の実施</li> <li>■ 地域の学力向上推進事業(道実施)活用による教職員研修・授業実践</li> <li>■ ALT(外国語指導助手)の継続</li> <li>■ 退職教員外部人材講師(道予算・赤平小)による少人数指導等の実施</li> <li>■ 支援員配置による学習・生活支援</li> <li>■ 長期休業中・放課後における補充学習の実施</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	標準学力、知能検査 575 千円		標準学力、知能検査 639 千円	標準学力、知能検査 612 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	「全国学力・学習状況調査」における全国平均正答率を下回った。
効果度	C	各種施策を実施しているが、改善が見られない状況にある。
今後の取組		
課題	各種施策を実施しているものの、改善には至っていない。	
改善策	各種施策を通じた、学力向上に向けての授業改善、児童生徒・保護者等の意識改革を図る。 長期休業中や放課後における学習サポートの充実などで、学習習慣の定着及び生活習慣の改善を確立する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 最重要の課題であり、更に拡充し各種施策に取り組む必要があるため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	体力向上対策			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(各種目の状況)」の全体結果が全国平均		
	目的	教育委員会・学校が児童生徒の体力や運動習慣・生活習慣・食習慣を把握した上で、学校における体育・健康に関する指導を通じ改善を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(各種目の状況)」において、平均を下回る種目はあるものの、全体結果は全国平均を上回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新体力テストの実施</li> <li>■1校1実践の奨励</li> <li>■体力向上の検討組織として、体力向上委員会を設置</li> <li>■体力向上プランの作成・実施</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	平均を下回る種目はあるものの、小学校の全体結果は全国平均を上回った。中学校は平均を全国平均を上回る種目もあり、目標到達となった。
効果度	B	学校における体育・健康に関する指導が、一定程度の効果を挙げたものと考えられる。
今後の取組		
課題	今年度の結果が一過性のものとならないよう、経年的な結果分析・各種施策の継続と結果に合わせた見直しが必要となる。 平均得点が全国の平均得点を上回ったものの、種目ごとでの差が大きいことから、これらを高い水準で平準化していくことも課題である。	
改善策	運動の楽しさを伝えながら、体力向上に向けた取組を継続的に実施していく。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 最重要の課題であり、継続して各種施策に取り組む必要があるため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	フッ化物洗口			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 小学生の実施割合90%、中学生の実施割合80%		
	目的	児童・生徒のむし歯予防のため。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通じてフッ化物洗口を中止(3年連続)した。		
	内容	-		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	消耗品・薬剤費等 0 千円		消耗品・薬剤費等 0 千円	消耗品・薬剤費等 64 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	D	-
効果度	D	-
今後の取組		
課題	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、本事業の再開を検討しなければならない。	
改善策	児童生徒の健康増進に有効であることと感染症対策徹底とのバランスを見極めつつ、適切な再開時期を決定する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 実施による有効性についての周知を行いながら、再開に向けた検討を継続するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校給食センター	
事業名称	安全安心な学校給食の提供			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 食育により、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。		
	目的	学校給食の充実及び学校における食育の推進を図ることを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき学校給食センターを設置し、児童・生徒に安全・安心な給食を提供する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 栄養教諭が小・中学校全クラスを訪問し、食育に努めた。		
	内容	給食の提供 ■給食日数 205日 ■提供食数 92,351食(前年度103,641食) 地産地消の提供 ■地元生産者からのメッセージDVD等を各学校に配布 ■地元の食材使用率(括弧内は前年度) 米100%(100%)、じゃがいも3.0%(8.6%)、大根3.3%(7.4%)、 にんじん2.0%(0.0%)、キャベツ0.0%(0.5%)、白菜2.1%(1.9%)、とうもろこし100%(100%)、ミニトマト100%(100%)		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	学校給食センター費 77,480 千円		学校給食センター費 93,421 千円	学校給食センター費 71,664 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	感染防止対策・衛生管理を徹底しながら、安全・安心な学校給食を提供した。
効果度	A	栄養教諭の学校訪問による食育と地産地消を行いながら、おいしい給食の提供に努めた。
今後の取組		
課題	食材・調味料等の値上げにより、現在の給食費で収支均衡を保つことが困難になっている。	
改善策	子育て支援・保護者負担軽減の観点から、市の予算で1食当たり20円～40円程度を負担し続けることで、給食費の値上げを回避し、また給食の質を落とさないで提供する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 地産地消を図りながら、安全・安心な学校給食の提供を継続するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	いじめ未然防止			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 児童生徒へのいじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率100%		
	目的	いじめはどの学校でもどの児童生徒にも起こり得るという認識のもと、いじめの問題を根本的に解決していく。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 児童生徒へのいじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率92.8%(小学校93.9%、中学校91.2%)		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いじめ防止アンケートの実施による実態把握(年2回)</li> <li>■「いじめ問題対策連絡協議会」の開催による関係機関の連携強化</li> <li>■青少年センター専門指導員による学校訪問等</li> <li>■家庭へのいじめチェックシートの配布</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「子ども会議」の開催による児童・生徒交流、事例発表(中止)</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	12 千円		0 千円	17 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が、前年比で2.6(小学校3.4、中学校1.2)下回った。
効果度	B	「いじめは絶対に許されない」との認識に結びつくように道徳の授業で行い、児童生徒の認識に努めている。
今後の取組		
課題	「いじめは絶対に許されない」との認識を定着させるとともに、発生している個別案件の早期発見と、解決に向けた具体的対応を進める必要がある。	
改善策	いじめ防止アンケートに記載された内容の確認を徹底し、個別のいじめ案件への早急な対応を進める。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 各事業を継続し、いじめ根絶に向けた児童生徒や保護者の理解を促すため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	不登校への対応と未然防止			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 不登校児童生徒割合の減少		
	目的	児童生徒の不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、関係機関とも連携しながら問題解決に当たる。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 不登校児童生徒割合9.1%(33名)[前年度5.4%(24名)、2年度4.0%(18名)]		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スクールカウンセラー1人(道費76時間・市費114時間)による相談業務</li> <li>■青少年センター専門指導員による学校訪問等</li> <li>■関係機関等との連絡・調整及びケース会議開催</li> <li>■通級指導教室での相談</li> <li>■教育支援室の開設(不登校対応)</li> <li>■教員加配による生徒支援の実施(道予算・赤平中)</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	2,598 千円		350 千円	402 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	関係機関等と対応・対策を講じたが、不登校児童生徒の割合・人数ともに増加した。
効果度	B	教育支援室を設置し、対応に努めている。
今後の取組		
課題	不登校児童生徒の相談体制整備が進んでいるにもかかわらず、その割合・人数が増加した。	
改善策	学校・家庭・関係機関との連携を一層強化するとともに、改善に向けた新たな方策を実施する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 不登校児童生徒減少に向けた体制整備を進めてきたが、増加傾向に歯止めはかかっていない。各事業を継続しつつ、新たな施策を実施する必要があるため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	特別支援教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応を行い、特別支援教育の充実を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各小・中学校に支援員を配置</li> <li>■教育支援委員会の開催(3回)</li> <li>■就学相談・指導の実施</li> <li>■通級指導教室(赤平小) (担当教員2人、在籍児童47人、スクールバス送迎・他校巡回実施)</li> <li>■個別の教育支援計画作成</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	9,998 千円		16,899 千円	16,996 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	通級指導教室担当教員の2人体制継続、支援員の人材確保等により、特別支援教育の体制が充実した。
効果度	B	学習・学校生活面の支援に効果があった。
今後の取組		
課題	個別支援の必要な児童生徒が増加傾向にあることから、就学時健診や就学指導段階での相談体制や学校での支援体制強化が必要となっている。	
改善策	通級指導教室の増員を目指すとともに、支援員の人材確保を継続する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 特別支援教育の必要性が高まっていることから、各事業を継続するとともに更なる拡充を進めるため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	高校通学費等助成			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	高等学校等に就学している生徒の通学費等の一部を助成するための支援金(月額7,000円)を保護者に交付し、その負担軽減を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<p>■支給額 生徒1人につき月額7,000円(四半期ごとに交付)</p> <p>■支給人数 154人</p> <p>■支給世帯 147世帯</p> <p>■支給総額 12,761,000円</p> <p>※周知徹底のため、対象者のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。</p>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	12,761 千円		12,474 千円	15,196 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	事業開始から7年度目を迎え、保護者の認知も進み円滑に支給することができた。
効果度	A	高校等に通学する生徒の保護者負担軽減に寄与した。
今後の取組		
課題	定住促進への効果について、他の子育て支援施策とともに検証する必要がある。	
改善策	保護者への聞き取り調査を実施し、本事業の効果度等を検証する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 高校生等のいる保護者の負担軽減と進学への奨励に有効な施策であることから、令和5年度は月額7,000円から月額10,000円に増額をして継続する。

#REF! ### 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係	
事業名称	奨学金返還免除(人材育成・定住促進奨学金)			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 返還を開始した卒業生の免除割合50%以上		
	目的	高校・大学等を卒業後、赤平市に居住し就労する方の奨学金返還を免除することにより、市内企業への就職・定住を促進する。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 免除割合42.9%(14人中6人免除)(前年度28.6%[7人中2人免除])		
	内容	奨学金返還免除割合 ■返還を開始した卒業生14人のうち、2人が全額免除、4人が半額免除に該当した。 (前年度は、7人のうち、2人が半額免除。) 人材育成・定住促進奨学金の貸与内訳 ■貸与51人(高校7人、専門18人、短大2人、大学24人)、うち、新規21人。 ※貸与金額等 高校・高専 月額2万円以内、専門学校・大学等 月額4万円以内、 免除要件 市内居住市内就労で全額免除、市内居住市外就労で半額免除 ※周知徹底のため、高校生のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。		
事業費 (決算額)	令和4年度	*参考	令和3年度	令和2年度
	貸与額 22,660 千円 (返還免除額1,440千円)		貸与額 20,740 千円 (返還免除額680千円)	※返還3年度目 貸与額 20,660 千円 (返還免除額600千円)

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	利用者は増加傾向(30年度31人、元年度37人、2年度48人、3年度47人、4年度51人)で、赤平市独自の奨学金として広く認知されている。
効果度	B	これまで返還対象者の約4割の方が赤平市内に居住している点においては、一定の効果はあったと判断する。
今後の取組		
課題	本奨学金の返還は平成30年度から開始されたが、これまでの卒業した返還対象者42人中、全額又は半額免除となった者は16人となった。市内定住促進にある程度寄与したものと推察されるが、今後もその成果を確認する必要がある。	
改善策	当面の目標値を返還免除割合50%以上(初年度実績以上)とし、検証を継続していく。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 市内定住促進に対する効果の検証途中であること、利用者数が堅調に推移していることから、同じ内容で継続するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	ICT活用教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	ICT機器を活用する情報能力を育み、学習内容の共有化や学習意欲・思考力・判断力などの向上につなげる。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	タブレット端末等を導入し、校内研修もを行いながら、ICT機器を活用した授業等を展開した。 ■ 小学校用タブレット端末58台リース 2,022千円 ■ 中学校用タブレット端末40台リース 1,423千円 ■ 教師用iPad26台及び附属機器購入 1,034千円		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	4,479 千円		10,943 千円	24,029 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	各小・中学校タブレット端末リースを継続したほか、iPadを追加購入し、教師用も含めて一体的に使用できる環境整備を進めることができた。
効果度	B	各学校での使用頻度等にばらつきはあるものの、通信環境も整えたことで日常的な利用が進んでいる。
今後の取組		
課題	日常的な維持管理(OSやアプリの更新など)が継続すること、教職員のスキルアップが求められること、児童生徒へ適切な使い方を指導することなど、1人1台端末の有効利用を進めるための新たな業務負担が発生している。	
改善策	教育委員会が主体的にアプリやアカウントの設定・更新、研修のあっせん・実施などに携わることで教職員へのサポートを充実させ、学校での利用促進につなげていく。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: ICT環境の整備と適切な運用は、学力向上や教職員の働き方改革に有効な手段であり、重点的な施策として今後も推進するため。

#REF! ### 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	公設塾の開設			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	市内の中学生を対象に、学力向上及び学校以外での学習習慣の定着化を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	中学生(公設学習塾) 隔週50分(1・2年生)、週50分(3年生) ■登録生徒数 39人 ■業務委託料 2,840,200円		
事業費 (決算額)	令和4年度	* 参 考	令和3年度	令和2年度
	2,841 千円		2,296 千円	2,202 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	全体生徒数に対する登録者の割合は、中学生23.8%(前年度比+7.7)となった。
効果度	B	学校以外での学習習慣の定着が図られた。
今後の取組		
課題	登録生徒数の増加に向けての検討が必要。	
改善策	対象教科の増加を図った初年度であるため、今後の推移を見守りながら検討する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 学習への意欲喚起と学習習慣定着の一助となるよう、継続して実施する。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係	
事業名称	青少年教育			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	青少年教育の振興、健全育成や非行防止に係る活動を助長するため、青少年育成事業を実施するとともに、各地区交流の推進やリーダー養成などを通じ、児童・生徒の体験活動等を支援・奨励する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	青少年育成健全事業 ■ ふるさと少年教室(参加者5人) ■ 子ども秋あそび事業(中止) ■ あかびら子どもまつり(中止) ■ かるた会(中止) ■ 子ども冬あそび事業(参加者49人)		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も多くの事業が中止となったが、ふるさと少年教室や冬あそびなどを実施することで青少年の健全育成に寄与できた。
効果度	B	多くの事業が中止となったが、実施した事業では体験活動の実施など、子どもたちの健全育成に繋がる学びの場を提供できた。
今後の取組		
課題	児童・生徒数の減少やコロナ過で数年間の事業中止により、子どもたちの間で事業内容の継承が途切れたため参加者数の減少につながっている。	
改善策	引き続き事業全体を検証し内容の見直しを進めるとともに、柔軟な企画実施を目指す。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
③	理由: 参加者の減少に対応し、持続可能な事業内容の見直しを行う必要があるため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係	
事業名称	出前講座			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	子どもから高齢者まで幅広く、また、気軽に学習できることを目的に、一定の人数の市民に対し、出張講座(出前講座)を実施し生涯学習社会の実現を図る。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<p>■ 出前講座数 46講座</p> <p>■ 開設講座数・受講者数 10件・260人 (2年度 11件・327人、3年度7件・184人)</p> <p>■ 主な講座の受講者数等 防災対策 4件・76人 認知症サポーター養成 2件・52人</p>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、前年度実績を上回った。
効果度	B	受講者数等は若干増加し、児童・生徒の学習機会の確保と市民の知識向上の一助となった。
今後の取組		
課題	小・中学校での授業や町内会など市内団体の研修として利用されているが、新型コロナウイルス感染症の感染状況もあったが、受講者数は若干増加したが活発な利用とはならなかった。また、感染症拡大防止のため、受け入れを中止した講座もあった。	
改善策	今後も各種団体や市各課の協力を得ながら、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しつつ、事業を継続していく。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯学習社会の実現を目指し、継続して事業を実施するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課	
事業名称	社会教育施設等の充実			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	教養・文化・スポーツなどの活動を通して、市民の学びを推進するための中核的施設として、歴史・生涯学習の場やスポーツ活動の場、文化交流の場を提供する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 各施設の利用状況等…巻末資料のとおり		
	内容	新型コロナウイルス感染症による影響もあったが、感染防止対策にも取り組み利用者数も増加し、学習や健康増進、文化・スポーツ活動等の場として、各種社会教育施設の運営管理を行ってきた。 また、郷土の歴史である石炭産業を伝えるため、炭鉱遺産ガイダンス施設の運営管理を行った。		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	169,495 千円		74,052 千円	95,995 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、前年に比べ利用者数等が増加した。
効果度	B	感染症対策を徹底し、可能な範囲での有効利用を進めた。
今後の取組		
課題	社会教育施設が持つ多種多様な学びや体験の場を充実するため、様々な年代が利用しやすい環境を作る努力が必要。また、老朽化施設もあることから施設環境の充実が課題。	
改善策	市民の各種ニーズに対応するため、各施設間のネットワークを強化し、利便性の向上を目指す。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由： 市民の学び場や健康増進の場、各分野の拠点として親しまれるよう、施設環境を充実させながら継続するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課文化財保護係	
事業名称	文化財保護			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 炭鉱遺産ガイダンス施設来館者数5,000人		
	目的	地域の歴史・文化を物語る郷土資料を保存・活用・整理し、教育や郷土理解に資するほか、郷土資料の中で特に価値の高いものを文化財として保護していく。 炭鉱遺産ガイダンス施設を適切に運営し、多くの方に見学や学習を通して炭鉱遺産を体験してもらうとともに、地域の歴史に対する理解を深めてもらう。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 炭鉱遺産ガイダンス施設来館者数 11,090人(前年度6,030人)		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■郷土資料の保護・普及・整理</li> <li>■指定文化財の保護管理</li> <li>■埋蔵文化財包蔵地の保護～工事事前協議等による対応</li> <li>■炭鉱遺産の保存・管理・整理</li> <li>■炭鉱遺産ガイダンス施設の運営</li> </ul> 炭鉱遺産の公開(ガイダンス施設来館者数11,090人、ガイド参加者数3,233人)		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	令和 2 年度
	3,811 千円		4,928 千円	3,036 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	コロナ禍からの復調の傾向がみられ、来館者数目標(年間5,000人)を大きく超えることができた。
効果度	B	郷土資料の活用・教育・普及について、市内小・中学校の見学や企画展の開催などで一定の効果を挙げることができた。 炭鉱遺産以外の資料の保存及び展示について、検討を要する。
今後の取組		
課題	炭鉱遺産の価値と意義を正しく理解し普及・啓発するため、国の文化財制度への位置付けや、調査等により価値を明確化する必要がある。 郷土資料全般の一元的取り扱い可能な施設の検討や、休館施設に収蔵している資料の管理・公開等について課題が残る。	
改善策	炭鉱遺産の価値の明確化に向けて、調査等必要な業務を進める。 郷土資料全般の保存、管理及び展示については、市全般の公共施設管理の方針を踏まえ検討する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 一定の成果を挙げていることから、更なる施策の展開に向けた取組を継続するため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課図書館図書係	
事業名称	図書館の運営と読書活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	図書館利用と読書活動を推進する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	<p>資料の収集と提供・保存等基本的業務のほか、次のサービス・事業を実施した。</p> <p>&lt;サービス&gt;</p> <p>■図書資料の整備・充実(図書購入1,825冊、除籍567冊)、■図書管理システムによるカウンター業務、■パソコンによる簡単な図書検索、■公立図書館と連携した図書相互貸借サービス、■レファレンスサービス・リクエスト及び予約サービス、■図書除菌機導入による安心して衛生的な読書の確保、等</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <p>■ブックスタート、■読書感想文コンクール、■家読(うちどく)啓発、■職場体験・図書館見学、■移動図書館、■団体貸出・配本サービス、■おたのしみ会、■リサイクルコーナー、■出張おはなし会、等</p> <p>■広報掲載(図書館だより)、ホームページ更新、ポスター掲示、パンフレット作成等</p> <p>■老朽化した施設の営繕・補修と環境整備(花壇植栽、館内の飾り付けの充実)</p>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	平成 2 年度
	6,678 千円		6,574 千円	7,492 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	新型コロナウイルス感染拡大以前とほぼ同数の利用者数に回復し、感染防止対策を継続しながら運営することができた。
効果度	B	新型コロナウイルス感染拡大以前の行事を再開するなど、図書館利用の促進と読書活動の推進について、一定の効果を挙げることができた。
今後の取組		
課題	開館以来40年を経過し、建物の経年劣化に加え、冷房、ボイラーの老朽化、WiFiの未対応などにより施設の改修・更新時期を迎えている。 また、図書館を取り巻く環境の変化、市民ニーズの多様化等、様々な課題に直面している。	
改善策	早急な施設更新は難しいことから、施設修繕による安全な環境整備を行っていく。 また、利用者のニーズ・時事的動向・社会状況等を考慮し、幅広い図書を購入・電子化などで利用者増につなげていくとともに、要望に添った行事を開催していく。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 図書館利用の促進と読書活動推進のため、基本的な業務とサービスを行うとともに、資料や情報の提供に対する求めに応じていくため。

令和 4 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会体育係	
事業名称	体育・スポーツ活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 前年度実績を上回る各事業の参加者数		
	目的	幼少期から高齢者までの誰もが気軽に参加できるスポーツを通して、心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現を目指す。		
実績	実績値			
	内容	<p>【スポーツ・レクリエーション(スポーツ大会)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニバレーボール大会～参加者37名(8チーム)、軽スポーツ大会～参加者18名</li> <li>・ニュースポーツ大会～参加者24名</li> </ul> <p>【スポーツ教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般水泳教室～参加者7名、・こども水泳教室～参加者22名、・バレーボール教室～参加者12名、こども野球教室～参加者35名</li> </ul> <p>【北翔大学との包括連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども体力測定会・走り方教室～参加者44名、市民スマイルウォーキング～参加者21名</li> </ul>		
事業費 (決算額)	令和 4 年度	* 参 考	令和 3 年度	平成 2 年度
	620 千円		16 千円	23 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:おおむね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していたほとんどの体育・スポーツ事業を中止したが今年度はすべての事業を開催することが出来た。
効果度	B	感染防止対策を徹底し、全ての事業を開催する事が出来た。コロナ過以前のような健康増進等を目的とした従前のような効果をあげることが出来た。
今後の取組		
課題	新型コロナウイルス感染症が終息したわけではないが、体力向上や生活習慣病予防などの健康増進活動は重要である。今後も、市民の誰もが日常を通じて気軽にスポーツに参加できる体制づくりを進めることが必要。	
改善策	スポーツ大会等の開催に関しては、スポーツ協会ほか関係団体との連携を図り、参加者の増加と定着化に努める。また、子どもたちを対象としたスポーツ教室等を実施しスポーツの楽しさを体験してもらうとともに、更なる技術の向上を図る。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯スポーツ社会の実現を目指し、継続して事業を実施するため。

《資 料》

# 教育施設利用状況

【交流センターみらい】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30	2,606	3,783	3,217	1,514	6,244	3,999	4,391	4,731	1,685	7,718	2,471	6,228	48,587	114.5%
	R 1	2,209	2,123	3,862	1,353	5,624	5,324	4,376	3,625	1,624	10,299	2,354	121	42,894	88.3%
	R 2	290	11	838	924	1,865	948	1,983	1,301	654	620	1,637	2,488	13,559	31.6%
	R 3	1,082	402	365	810	2,481	143	1,097	1,205	902	1,100	108	358	10,053	74.1%
	R 4	1,197	878	1,120	993	2,166	868	2,012	1,381	807	2,356	1,923	2,964	18,665	185.7%
使用料 (円)	H 30	182,830	239,515	102,475	112,205	167,310	66,310	181,665	234,765	150,965	274,475	156,720	492,485	2,361,720	97.8%
	R 1	179,230	192,400	122,035	115,580	156,505	252,060	168,641	198,101	139,896	300,531	135,730	297,973	2,258,682	95.6%
	R 2	78,687	3,332	42,014	70,527	83,866	102,308	129,063	69,214	49,780	68,639	58,376	455,162	1,210,968	53.6%
	R 3	106,056	10,950	49,277	45,673	59,951	10,382	97,457	137,514	98,282	127,028	15,736	461,205	1,219,511	100.7%
	R 4	118,954	47,055	75,465	87,513	78,434	105,457	130,756	122,960	110,194	120,631	158,112	420,485	1,576,016	129.2%

【東公民館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30	571	513	585	702	645	624	616	623	409	305	900	558	7,051	84.8%
	R 1	932	466	646	703	559	496	662	617	338	370	1,065	31	6,885	97.6%
	R 2	87	28	282	598	267	355	540	367	205	97	334	686	3,846	55.9%
	R 3	410	125	136	429	249	0	605	448	328	205	191	286	3,412	88.7%
	R 4	355	284	352	904	234	399	425	446	278	264	629	380	4,950	145.1%
使用料 (円)	H 30	20,354	28,660	30,250	18,200	21,845	18,379	36,794	24,714	28,197	24,848	25,632	34,976	312,849	85.4%
	R 1	20,886	14,935	20,315	17,255	16,985	25,479	27,124	28,758	33,987	27,414	20,514	△ 6,444	247,208	79.0%
	R 2	5,556	920	12,700	13,960	8,230	13,796	22,229	11,427	12,772	11,250	12,546	36,234	161,620	65.4%
	R 3	11,909	4,740	4,020	15,085	3,215	2,530	24,888	30,285	21,726	5,196	0	10,377	133,971	82.9%
	R 4	6,353	10,772	11,755	8,935	9,955	16,260	22,168	23,611	18,896	12,372	20,155	16,035	177,267	132.3%

【図書館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30	408	378	441	389	394	420	349	403	351	328	301	381	4,543	101.0%
	R 1	370	330	405	341	392	387	409	399	356	288	306	356	4,339	95.5%
	R 2	223	161	378	342	375	337	409	361	351	282	267	289	3,775	87.0%
	R 3	319	188	99	375	307	0	421	327	361	237	64	163	2,861	75.8%
	R 4	282	289	332	278	222	451	247	253	224	203	229	273	3,283	114.8%
貸出数 (冊)	H 30	1,946	1,789	1,840	1,858	1,794	1,906	1,719	1,893	1,795	1,697	1,536	1,886	21,659	100.7%
	R 1	2,031	1,922	1,864	1,575	1,985	1,880	2,172	2,062	1,944	1,712	1,640	1,939	22,726	104.9%
	R 2	1,129	924	1,908	2,065	2,054	1,845	2,086	1,875	2,194	1,741	2,126	1,601	21,548	94.8%
	R 3	2,127	1,351	1,551	2,107	2,020	0	3,184	1,870	2,555	1,710	671	919	20,065	93.1%
	R 4	2,280	2,157	2,103	1,435	1,588	1,697	1,679	1,795	1,298	1,416	2,029	1,547	21,024	104.8%

【総合体育館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30	9,246	1,557	1,789	2,143	1,884	2,100	6,904	2,786	2,389	2,403	2,294	3,283	38,778	85.4%
	R 1	9,792	1,510	1,733	2,018	2,019	2,305	7,271	2,700	2,744	2,547	2,204	112	36,955	95.3%
	R 2	1,174	143	1,460	1,454	1,296	1,364	2,289	1,824	1,850	1,689	1,747	2,503	18,793	50.9%
	R 3	1,923	662	422	1,341	1,016	0	2,032	2,801	2,168	1,358	0	782	14,505	77.2%
	R 4	1,860	1,348	1,488	1,491	1,525	1,578	2,295	2,497	1,944	2,146	2,751	3,779	24,702	170.3%
使用料 (円)	H 30	61,394	436,324	96,710	42,650	104,320	225,230	108,940	162,706	104,336	162,976	156,292	191,324	1,853,202	105.7%
	R 1	159,070	129,972	86,000	58,320	95,610	255,190	208,010	176,986	167,413	170,557	152,256	12,720	1,672,104	90.2%
	R 2	80,394	0	88,100	72,330	70,580	71,520	113,890	193,703	138,178	139,882	127,060	190,435	1,286,072	76.9%
	R 3	290,319	46,334	14,430	90,440	71,950	0	94,880	233,436	154,400	150,931	0	38,778	1,185,898	92.2%
	R 4	123,494	72,115	93,030	82,280	71,820	138,240	126,590	227,401	163,612	171,414	169,195	329,835	1,769,026	149.2%

【市民プール】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30			1,391	2,693	2,132	619							6,835	87.6%
	R 1			1,065	2,619	1,928	662							6,274	91.8%
	R 2			888	1,256	1,334	707							4,185	66.7%
	R 3			363	1,683	1,053	0							3,099	74.1%
	R 4			800	2,351	1,588	751							5,490	177.2%
使用料 (円)	H 30			249,700	101,050	162,400	47,500	7,050						567,700	100.6%
	R 1			202,200	124,250	129,200	55,850	6,350						517,850	91.2%
	R 2			179,050	88,450	67,200	50,500	2,400						387,600	74.8%
	R 3			148,500	98,200	74,000	-4,800	-2,800	-36,800		-1,000			275,300	71.0%
	R 4			221,300	102,300	98,750	50,700	12,750						485,800	176.5%

【虹ヶ丘球場】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30		497	685	313	338	255	78						2,166	78.4%
	R 1		420	1,081	854	559	410	670						3,994	184.4%
	R 2	11	65	132	589	272	62	462						1,593	39.9%
	R 3		80	500	498	192	0	280						1,550	97.3%
	R 4		262	392	320	370	151	275						1,770	114.2%
使用料 (円)	H 30		7,715	18,060	12,950	10,110	8,120	4,025						60,980	104.8%
	R 1		1,800	8,745	13,355	20,160	6,170	10,050						60,280	98.9%
	R 2	1,175	1,880	4,465	12,050	8,775	2,350	9,175						39,870	66.1%
	R 3	0	3,525	0	12,450	10,065	0	2,400						28,440	71.3%
	R 4		4,700	9,400	11,745	7,750	8,460	3,855	3,200					49,110	172.7%

【スポーツセンターテニスコート】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30		791	664	692	260	403	177						2,987	92.6%
	R 1		309	168	325	172	156	136						1,266	42.4%
	R 2	6	57	155	225	236	201	126						1,006	79.5%
	R 3		186	33	201	69	0	82						571	56.8%
	R 4		252	264	325	167	109	115						1,232	215.8%
使用料 (円)	H 30		54,000	21,150	8,100	11,250	15,600	12,900						123,000	80.6%
	R 1		62,700	18,450	25,950	25,200	16,650	14,490						163,440	132.9%
	R 2	2,190	3,270	15,420	29,590	38,160	14,480	11,520	940					115,570	70.7%
	R 3		17,980	7,190	19,640	12,480	0	4,830	1,860					63,980	55.4%
	R 4		37,230	27,990	44,890	12,770	4,340	10,850						138,070	215.8%

【パークゴルフ場（赤平）】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 30		965	801	792	688	954	787						4,987	192.5%
	R 1		627	832	892	518	764	558						4,191	84.0%
	R 2	377	428	886	747	596	789	748						4,571	109.1%
	R 3		355	332	687	154	0	456						1,984	43.4%
	R 4		693	722	649	345	589	483						3,481	175.5%

※パークゴルフ場は、使用料無料。

【炭鉱遺産ガイダンス施設】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比	
利用者数 (人)	H30 (有料)				462	268	379	553	143	91	24	65	97	2,082		
	(無料)				1,255	1,316	1,310	1,372	1,074	379	228	256	518	7,708		
	R1 (有料)	240	374	411	564	413	530	471	217	106	92	49	0	3,467	166.5%	
	(無料)	783	1,114	1,110	1,285	1,118	1,408	1,288	529	378	335	350	25	9,723	126.1%	
	R2 (有料)	40	41	150	451	386	412	371	174	49	62	49	86	2,271	65.5%	
	(無料)	212	198	780	1,780	1,480	1,091	787	384	264	449	514	588	8,527	87.7%	
	R3 (有料)	141	142	132	395	328	0	561	309	91	23	0	27	2,149	94.6%	
	(無料)	578	501	284	1,046	950	0	1,202	728	444	140	0	157	6,030	70.7%	
	R4 (有料)	170	626	320	411	413	512	304	223	39	30	50	135	3,233	150.4%	
	(無料)	941	1,571	1,176	1,390	1,476	1,392	1,204	679	288	170	249	554	11,090	183.9%	
	使用料 (円)	H30				262,100	180,200	255,100	383,600	87,900	43,600	13,100	25,900	69,800	1,321,300	
		R1	99,850	272,950	236,900	223,700	310,950	390,050	305,000	112,600	51,600	78,500	37,400	0	2,119,500	160.4%
R2		31,000	32,400	83,100	292,300	285,200	293,250	245,800	135,600	18,600	47,800	36,800	63,900	1,565,750	73.9%	
R3		67,100	79,900	47,800	242,900	208,500	0	333,000	172,400	49,200	23,300	0	16,000	1,240,100	79.2%	
R4		86,900	327,100	269,400	291,800	279,400	325,200	244,500	150,600	26,400	25,100	28,600	78,600	2,133,600	172.1%	

※利用者数のうち、上段は有料のガイド付き見学参加者数、下段は無料の入館者数。